

## 議題提案書

### 1 基本情報

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 議題種別   | 協議事項                  |
| 議題名    | N 連の今年度の状況と来年度の実施について |
| 提案者の氏名 | 今西浩明                  |
| 提案者の所属 | NGO 側連携推進委員会          |
| 提案者の役職 | 連携推進委員                |

### 2 議題提案の背景

日本の国際協力において、NGO は重要な戦略的パートナーとして位置付けられている。その中でも、NGO 連携無償資金協力（以下「N 連」という。）は、外務省と NGO が連携して実施するプログラムの中で、最も重要かつ予算規模の大きい制度であり、多くの NGO にとって、海外における支援活動を実施する上で欠かすことのできない主要な助成金事業となっている。

近年、N 連の新規申請案件数は増加の一途をたどっている一方で、年間の N 連予算については、申請件数や申請額の増加に見合った規模の確保が困難な状況が続いていると認識している。このような状況の中、N 連案件を効果的かつ円滑に実施するため、連携推進委員会に設置された N 連タスク等における意見交換や協議を通じて、運用制度の見直しや各種施策の検討・実施が行われてきた。

今後も、こうした構造的な状況に大きな改善が見通せない中において、今年度の N 連全体の取り組みや実施状況を振り返り、課題について共通認識を図るとともに、今後の取り組みや方向性について意見交換・議論を行うことは、N 連を通じた外務省と NGO との連携を一層強化する上で、極めて有意義であると考えている。

### 3 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

今回、議論したいのは以下の 3 点である。

#### （1）今年度の N 連の実施状況と来年度の取り組みについて

今年度の N 連については、採択および契約締結が概ね出そろった時期に差しかかっていることから、外務省より、今年度の申請状況および採択状況（件数、契約金額等）についてご報告をいただきたい。

あわせて、N 連の運用に関して今年度取り組まれた対応（例：新規案件枠の設置、申請前コンサルテーション、N 連勉強会の開催等）について、改めて外務省よりご説明をいただき、その評価および成果を共有いただきたい。その上で、それらを踏まえた来年度の取り組み方針について情報共有をいただき、更なる改善策や新たな施策の可能性について意見交換を行いたい。

#### （2）来年度の実施要領の改正について

来年度の N 連実施要領については、すでに 4 月 3 日にオンライン説明会の開催が予定されているが、本委員会においては、今回の改正の主なポイントについてご説明をいただくとともに、今回の改正ポイントの背景や課題と認識されている点、ならびに来年度以降に向けた検討課題等について共有いただき、意見交換を行いたい。

(3) N 連の将来に向けた取り組みについて

上記(1)および(2)において、来年度の N 連に関する取り組みについて意見交換・議論を行うことを踏まえ、増加し続ける申請案件数および申請金額と、今後大幅な増加が見込みにくい N 連予算という相反する状況の中で、再来年度以降の N 連をどのように発展させていくべきかについて、中長期的な視点から議論を行いたい。

具体的には、来年度中に行うべき準備や「種蒔き」として考えられる取り組み、その狙いや目的、さらに、それらを実現するために何を行うべきか、何が可能であるかについて、意見交換を行うことを提案したい。

4 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 NGO 協力推進室 岩上室長、

以上